

相談支援機関の連携・協働のための研修

地域において、複合的な課題を抱え、支援が困難な事例が増えてきています。その事例解決のためには他機関の連携・協働が欠かせません。

この研修では、相談支援機関間の連携・協働により、複合的な課題を抱えるケースの支援を進めていくうえで必要な視点等を、事例をとおして学びとともに、相談員のスキルアップを図ります。

【日 時】 **令和7年3月4日(火) 午後1時30分～5時**

【講 師】 **龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 教授 樽井 康彦**

【会 場】 **大阪市社会福祉研修・情報センター 5階 大会議室**

【対 象 者】 **◆大阪市内の相談支援機関に勤務する相談員**

地域包括支援センター、ブランチ、区障がい者基幹相談支援センター、

地域活動支援センター(生活支援型)、生活困窮者自立相談支援窓口、見守り相談室等の相談員

【定 員】 **36人(申込多数の場合は抽選)**

【受 講 料】 **無 料**

【申込方法】 **FAXまたはホームページからお申し込みください**

【申込締切】 **令和7年2月12日(水) 午後5時まで**

【受講決定】 **2月下旬に事業所あてに発送します**

2月25日(火)までに通知が届かない場合は、ご連絡ください

【問合わせ】 **大阪市社会福祉研修・情報センター**

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

電話 06-4392-8201

FAX 06-4392-8272



研修内容

講義とグループワーク

<講義>

「複合問題に対するアセスメントの視点」

<事例検討>

「地域における複合的課題を抱える家族への支援事例」



FAX: 06-4392-8272

締切: 令和7年2月12日(水) 午後5時まで

事業所名					
種別	右の番号	①高齢者福祉関係	②障がい児・者福祉関係	③保育・児童福祉関係	
		④生活保護施設	⑤その他()		
事業所	〒	連絡先	電話	FAX	
受講希望者 (ふりがなも必ずご記入ください)	福祉業務経験年数 (R7.3.1現在)	年齢	職種番号		
ふりがな		右の番号	①相談職・支援職 ②介護支援専門員 ③介護職 ④保育士 ⑤保健師・看護師 ⑥事務職・管理職 ⑦その他()		
事前アンケート	複合的な課題を抱えるケースを連携・協働して支援するうえで困ったことや講師への質問がありましたらご記入ください。				
備考欄	手話通訳、拡大文字資料が必要な方は、その旨をご記入ください。				

*提供していただきました個人情報につきましては、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためにのみ使用し、他の目的で使用したり、第三者へ提供したりすることはありません。